



Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科 <通称「人環」(じんかん)> では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。このニュースレターでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。

研究者の交流



第40回国際交流セミナー
(2頁参照)

毎年本研究科から多くの研究者が学会参加や共同研究のために海外に出掛けるのみならず、多数の外国人研究者が本研究科を訪れ、研究活動、学会参加、学生指導などで目覚ましい貢献をしています(表1参照)。

平成24年度、海外から本研究科を訪れた主な研究者は次の通りです。

年度	19	20	21	22	23	24
外国人研究員 (客員教授・准教授)	6	6	6	6	5	5
招聘外国人学者	3	10	4	4	4	7
外国人共同研究者	5	5	2	5	4	1

表1 外国人研究者受入れ数 (人)

外国人研究員(客員教授・准教授) [()内は国籍/所属・身分] (2頁でセミナーの様子を紹介していますのでそちらも合わせてご覧ください)

- ・ Claude Germain先生 (カナダ/ケベック大学教授)
- ・ Bel Abbes Neddar先生 (アルジェリア/モスタガネム大学上級講師)
- ・ Matthew Gerald Stavros先生 (オーストラリア/シドニー大学准教授)
- ・ Andrey Vorobiev先生 (ロシア/モスクワ国立大学教授)
- ・ Olimpia Niglio先生 (イタリア/eキャンパス大学教授)

招聘外国人学者 [()内は国籍/所属・身分]

- ・ Maria Magdalena Nimas先生 (インドネシア/サナタ・ダルマ大学講師)
- ・ Karel Pravda-Starov先生 (フランス/セルジ・ポントワーズ大学講師)
- ・ Domitriy Mazhukin先生 (ロシア/ノボルビルスク州立大学准教授)
- ・ Widiyanto Cahya先生 (インドネシア/サナタ・ダルマ大学講師)
- ・ Wen-yu Chang先生 (台湾/国立台湾大学教授)
- ・ Krisztian Marius Indries先生 (ルーマニア/エオトヴィスーロランド大学講師)
- ・ Daniele Moore (フランス/サイモン・フレーザー大学教授)

外国人共同研究者 [()内は国籍/所属・身分]

- ・ Jens Sven Anders Wittsten先生 (スウェーデン/ルンド大学非常勤講師)

国際交流セミナー

大学院人間・環境学研究科では、常時一名ないし二名の外国人研究員（客員教授・准教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。

第37回 2012年4月10日

演者 ミッシェル・カンドリエ (Michel Candelier) 先生
フランス メヌ大学教授

演題 政治家は研究者の声を聞か？ヨーロッパからの証言



第39回 2012年6月21日

演者 クロード・ジェルマン (Claude Germain) 先生
カナダ ケベック大学モントリオール校教授

演題 カナダの言語政策と言語教育



第38回 2012年4月17日

演者 張玉林 (Zhang Yulin) 先生 中国 南京大学教授

演題 中国エネルギーの開発と地域社会
—山西省の「鉱害」を中心に—



第40回 2012年11月5日

演者 マシュー・スタブロス (Matthew Stavros) 先生
オーストラリア シドニー大学准教授

演題 足利義満と中世京都：日本と海外の研究の融合



第41回 2012年11月29日

演者 ベル・アブバス・ネダール (Bel Abbes Neddar) 先生
アルジェリア モスタガネム大学上級講師

演題 グローバル化と多言語主義



外国人留学生の概要

本研究科では多くの外国人留学生が勉学や研究に励んでいます。ちなみに、京都大学全体では平成24年5月1日現在1,707名（留学ビザの者）の留学生が在学していますが、そのうち118名が本研究科で学んでいます（表2参照）。118名という数は本研究科の全在学学生690名（修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別聴講学生を含む）の17.1%に当たり、また、その出身地は24の国及び地域に及んでいます（表3参照）。

平成3年（1991年）4月の開学から25年3月までの間に、98名の留学生が博士の学位を取得しました。

表2 外国人留学生数
(各年度5月1日現在、留学ビザの者のみ)

年度	留学生数
19	98人
20	113人
21	127人
22	135人
23	121人
24	118人

表3 留学生出身国地域別人数
(24年5月1日現在)

中国	70	韓国	10
台湾	10	インド	2
インドネシア	2	ウクライナ	2
ブラジル	2	米国	2
モンゴル	2	ロシア	2
イスラエル	1	イタリア	1
イラン	1	ウズベキスタン	1
オーストラリア	1	グルジア	1
ケニア	1	スペイン	1
ドイツ	1	ハンガリー	1
フランス	1	ベラルーシ	1
ベルギー	1	ルーマニア	1

118

留学生オリエンテーション

新学期の初め、主に新入の留学生を対象にしたオリエンテーションを実施します。オリエンテーションの後、在学生の留学生や日本人学生も加わって懇親会を行ないます。

留学生見学旅行

本研究科では毎年秋、一泊二日の留学生見学旅行を実施しています。留学生にとっては、ひととき、勉強のプレッシャーから解放されて、日本文化に接したり他の留学生や教職員と交流できる良い機会です。留学生の皆さんは、ぜひ申し込んで下さい（詳細は10月初めに発表予定）。

平成19年度以降の主な旅行先は以下の通りです。

- 19年11月 伊勢、鳥羽
- 20年11月 倉敷、琴平、高松、鳴門
- 21年11月 姫路、城崎、天橋立、舞鶴
- 22年11月 飛騨高山、白川郷
- 23年11月 南紀白浜
- 24年11月 北陸、金沢

平成24年度留学生見学旅行から



東尋坊の断崖絶壁



九谷焼の絵付け体験



旅館大広間での食事



旅館のロビーで



雨に煙る兼六園にて



金沢の近江町市場

学生の海外留学

本研究科の学生が海外留学をする場合、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいて留学する派遣留学、一般留学（学位取得過程での在外研究を含む）、語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学留学生課発行「海外留学の手引」を参考にしてください）。以下、2013年4月現在留学中の三人を紹介しましょう。

福田安佐子さん（創造行為論分野・修士課程）

フランス ストラスブール大学人文科学部哲学科 交換留学生
大学間交流協定による派遣留学
(2012年9月-2013年6月)



クラスメイトと街で



語学のクラスの仲間と懇親会



大学本館パレ・ユニベルシテの前で
京都大学からの派遣留学生4人と

藤井隆宏さん（文化人類学分野・修士課程）

中国 浙江大学公共管理学院 交換留学生
日本学生支援機構留学生交流支援制度（短期派遣）による
留学（2012年9月-2013年6月）



友人達と登山



調査に協力して下さった老先生と



福建省の土楼（フィールド
ワークで訪れる）

大学院人間・環境学研究科／総合人間学部 「国際交流推進後援会」にご加入下さい

人環／総人に在籍する留学生および外国人研究者に対する援助、支援を行うと同時に、その他の国際交流活動を推進するための財政的基盤を確立する目的で、2005年1月1日付けにて「京都大学大学院人間・環境学研究科／総合人間学部国際交流推進後援会」が設立されました。この後援会は、本研究科の教職員に限らず、その趣旨にご賛同頂ける方ならどなたでも加入して頂けます（一口2000円）。詳しくは、人環大学院掛窓口までお問い合わせ下さい。

西村木綿さん（文明構造論分野・博士後期課程）

米国 ニューヨーク市立大学ユダヤ学センター 客員研究員
フルブライト奨学金（大学院博士論文研究プログラム）による
留学（2012年9月-2013年8月）



ブンド研究のワークショップにて



グループ・プロジェクトの
報告会



フルブライトのオリエン
テーションで世界各国の
フルブライター達と

◇URL

<http://www.h.kyoto-u.ac.jp/jinkan/>→人間・環境学研究科案内→国際交流

◇問い合わせ先

*国際交流委員／留学生担当講師 藤田糸子
Phone: 075-753-6868
Email: fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp

*京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2952
Email: 110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

